

きたそらち

2025
8月号
No.293

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



鈴木直道北海道知事が「なのみちカフェ」の一環で幌加内町を訪問し、当JA田丸利博専務による案内のもと、バイオコクス製造実証事業施設を視察しました。

→記事の詳細は12ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



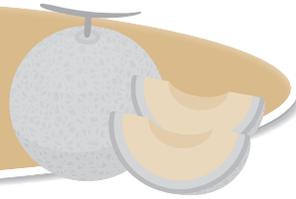
Instagram

JA.HITASORACHI

～ 今月のヘッドライン ～

- 各地区で特産メロン出荷開始! 2
- 深川市受入協 地域おこし協力隊との交流会... 6
- JA青年部・女性部と常勤役員との懇談会 8
- JAきたそらち女性部 支部長研修 10
- 新連載 社労士の一球入魂 16

各地区で 特産メロン出荷開始!



青果部

北斗メロン

6月27日、豊潤な甘みが特徴の赤肉メロン「北斗メロン」の出荷が始まった。この日は、北斗メロン生産協議会(橋本健会長)の荒井和也さん(一已地区)が、青果部野菜集出荷施設に計10ケース(1ケース4玉入り・5玉入り)を出荷し、この日の糖度検査では出荷基準を大きく上回る糖度18度のメロンが出荷された。

荒井さんは「4月は寒い日が続き、生育が一週間ほど遅れたが、6月の好天と昼夜の寒暖差が大きかったのがメロンには良かった」と話す。

翌28日には、旭川市の榊キョクイチで初競りがあり、1ケース(秀5玉入り)が10万円で取引された。

「北斗メロン」は、同協議会の11戸(約237a)で作付けしており、7月中旬から下旬をピークに秋まで出荷が続く。今年は7,000ケースの出荷、3,500万円の売り上げを目標としている。

【青果課 柏倉】



初出荷した荒井さん(中央)

雨竜暑寒メロン

6月29日、雨竜町特産の青肉メロン「暑寒メロン」が初出荷された。この日は雨竜町メロン部会(林伸昌部会長)の谷本貴志さんが、計10ケース(5玉入り1ケース・4玉入り9ケース)を運び入れた。

この日、同部会員により行われた糖度検査では、糖度18.2度と甘み十分で出荷基準の14度より高い数値を出した。また検査後は、同部会員がメロンを1つずつ手に取り格付けし、出荷された全てのケースに最も高い等級の「秀」を付けた。

谷本さんは、「定植後は朝晩の低温等で生育が心配だったが、無事出荷が出来て安堵している。今年も甘くておいしいメロンとなった。沢山のの人に食べて頂ければ」と笑顔で話す。

香りが良く糖度の高さが特徴の「暑寒メロン」は、同部会の14戸が約210aで栽培しており、今年は8,900ケースの出荷、4,400万円の売り上げを見込む。出荷は7月中・下旬ごろにピークを迎え、8月中旬まで続く。

【青果課 富田】



初出荷した谷本さん(右から2人目)

北竜ひまわりメロン

6月23日、北竜町の特産「北竜ひまわりメロン」が初出荷された。この日は、北竜メロン生産組合(山田敏光組合長)の渡邊靖範さんが、41ケース(1ケース4玉から5玉入り)を出荷した。

定植以降の曇天や低温等の影響により、昨年より1週間遅い初出荷となった。寒暖差が十分にあった為この日出荷したものの糖度は18度と、とても甘く最高の仕上がりとなった。

渡邊さんは、「定植後は朝の気温がマイナスになる日もありメロンの生育には厳しかった。5月以降からは天候が回復し日照を確保する事ができたため順調に肥大した。形や網目、そして特に甘さに関して申し分なく、近年で1番上出来で最高な味わいのメロンができたので、多くの人に食べてほしい」と笑顔で話す。

「北竜ひまわりメロン」は同生産組合の23戸が約435aで栽培し、今年は2万ケースの出荷、1億円の売り上げを目指す。出荷のピークは7月中下旬ごろから始まる。

【青果課 藤川】



初出荷した渡邊さん(前列右から2人目)

組合員の集い

各地区で開催

「組合員の集い」が今年も各地区で開催された。

抽選会や青年部による出店など、会場は終始賑やかな雰囲気に入れ、参加した組合員は忙しい農作業の合間に家族や仲間と楽しいひとときを過ごした。

【営農企画課 坪】

深川支所
音江地区 7/1



深川支所
多度志地区 7/9



雨竜支所 7/10



深川支所
一已地区 7/11



北竜支所 7/15



「ライスランドふかがわ」 大誕生祭

&

まあぶフェスタ

～「ライスランドふかがわ」大誕生祭～

7月6日、深川市道の駅「ライスランドふかがわ」で『大誕生祭』が開催された。

同道の駅内のJA農産物直売所「eciR（えしる）」では、旬を迎えた当JA産のメロン（北斗メロン・ひまわりメロン）やスイカ（マダーボール・ひまわりすいか）を中心に様々な青果物が特価で販売されたこともあり、開店直後から大勢の来店客が店内に溢れ、終日にぎわいを見せた。またeciR内のテイクアウトコーナー「TEMARI」でも『ひまわりすいか×マダーボール食べくらべすいかカップ』が販売され、こちらも注目を集めた。

この日、メロンを買い求めた市外からの来店客は「昨年この直売所で購入したメロンが美味しく、それが特価で販売されると聞きつけ訪れた。今年も食べることを楽しみにしている」と笑顔を見せる。

他にも、同イベントに合わせて各テナントでそれぞれの人気商品が特価や限定で販売され、大好評のイベントとなった。 【営農企画課 白川】



～まあぶフェスタ～

7月6日、深川市のアグリ工房まあぶ特設会場で『まあぶフェスタ』が開催された。

同会場内では特産品の販売や市内外の飲食店キッチンカーによる出店が行われ、JA青果部も収穫が最盛期を迎えている「きゅうり」と「ピーマン」を特価で販売し人気を集めた。またJA多度志加工部会による「笹団子」や深川市果樹協会による「さくらんぼ」などの販売も大好評だった。

他にも、ライスランド大誕生祭とのコラボ企画として行われた深川市の特産品が当たる「スタンプラリー」や「モルック大会」、またステージイベントとして「深川市・まあぶ〇×クイズ」や「大抽選会」などが行われ、家族連れなど多くの来場者で会場は終始にぎわいを見せた。

【営農企画課 白川】



北育ち元気村花き生産組合

毎年恒例の「生花(せいか)リレー」で癒しを届ける

北空知
広域連

7月14日、北育ち元気村花き生産組合(田村昌之組合長・妹背牛町)は毎年恒例となっている「生花リレー」を行った。

この生花リレーは市民・町民の方々の癒しになればという生産組合の想いから、令和2年よりスタートし今年で6回目を迎える。

今年も前職が花屋でもある生産者2名が、北空知管内で栽培されたダリアやひまわり、スターチスなど11種類の花を用いてフラワーアレンジメントを前日に作成し、『北空知の花はひとつ』を合言葉に各市町の役場等、計8か所へ寄贈した。

来年以降もフラワーアレンジメントの寄贈は行われる予定。

【北空知広域連 中川】



販売部

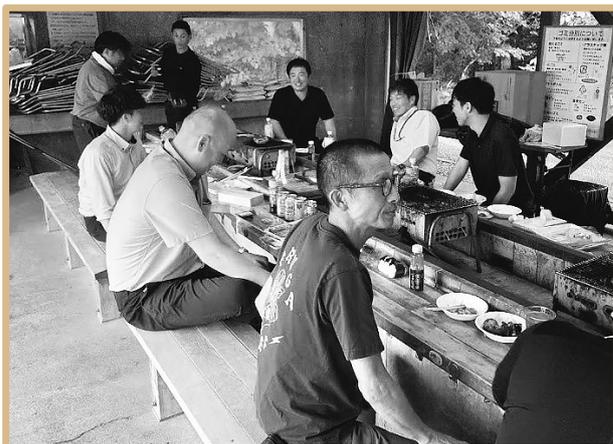
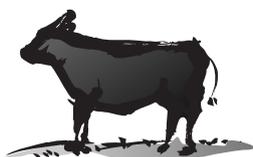
ホクレン畜産研修会&交流会を開催

6月16日、当JA主催による「ホクレン畜産研修会」がアグリ工房まあぶで開催され、ふかがわ肉牛組合(横井優司組合長)の会員や、ホクレン担当職員、JA役職員など関係者約25名が出席した。

研修会の冒頭で田丸利博専務が挨拶した後、ホクレン旭川支所・稚内支所・苫小牧支所の担当職員が「昨今の牛の市況等について」と題し、それぞれ出荷動向や販売動向、各市場での取引状況などを説明。出席した会員からは現場サイドの状況や、今後の出荷・販売における展望などの質疑が出されるなど活発な意見交換が行われた。

また、研修会終了後には交流会が開催され、当地区で生産された深川牛の焼肉を味わいながら豪華景品を懸けたミニゲームで盛り上がりそれぞれ交流を深めた。

【畜産課 中野】





青果部

エスコンで さくらんぼを試食PR

7月13日、北広島市のエスコンフィールドHOKKAIDOにて、北海道果樹協会による「令和7年度さくらんぼ試食宣伝会」が開催され、来場者へさくらんぼの配布が行われた。

北海道産さくらんぼの知名度向上のために行われた今回のイベントでは、同協会全体で38kg、当JAからは糖度が高く人気の品種である「佐藤錦」と「紅秀峰」合わせて8kg分を用意した。

当日はプロ野球チーム「北海道日本ハムファイターズ」対「オリックスバファローズ」の試合が行われていたため、両チームのグッズを身に着けたファンでブースは賑わった。

朝9時45分から開始したイベントは、当初5回終了時点まで行う予定だったが、1時間以内で全体の予定数量である1,000カップ（うち当JA分は200カップ）が配布終了し、多くの来場者にさくらんぼの美味ささと道産果樹の魅力を発信できたイベントとなった。

深川市果樹協会会長であり北海道果樹協会監事も務める（株）藤谷果樹園の田川大輔代表は「今回は北海道に協力いただき、北海道果樹協会として初めてエスコンフィールドで、深川市をはじめ北海道のさくらんぼの試食と宣伝をすることが出来た。深川市を知らない方も積極的に足を運んでくれ、良い宣伝となった。今後は深川市の果樹についても独自のPRを展開したい」と話した。

【青果課 川本】



深川市受入協

地域おこし協力隊との交流会

農業 振興部

7月7日、深川市新規就農等受入協議会（神尾誠会長）が当JA青果部会議室で「深川市地域おこし協力隊との交流会」を開催した。同会員24名と地域おこし協力隊員7名をはじめ、関係役職員など計42名が参加した。

交流会の前段として、（株）深川未来ファーム事業報告会を実施。同社の野弘道代表取締役が深川市における新規就農希望者（地域おこし協力隊農作業支援員）確保に向け、同社のInstagramを使用した宣伝プロジェクトなどについて報告した。

続いて、深川市地域おこし協力隊（農作業支援員）を招き、同協議会員とのグループディスカッションを実施。参加した協力隊員は、日ごろの農作業研修の中で不安なことや就農後の生計の立て方などについて熱心に質問し、同協議会員は自身の営農や就農経験等を振り返りアドバイスを送っていた。

交流会の終了後は、北空知広域連の下屋に移動し、参加者は焼肉を楽しみながら交流を深めた。

【営農企画課 白川】



「北育ち元気塾」第3回研修会 開催

6月27日、「北育ち元気塾」第3回研修会がJA北いびき妹背牛支所で開催された。今回は塾生19名が参加し、普及センター北空知支所の長田隼一専門普及指導員と北海道農業士の寺崎伊織氏(妹背牛町)を講師に迎え講義が行われた。

前半の講義では、長田専門普及指導員が「土壌分析について」、「土性」、「pH、EC、塩基飽和度」、「各種養分(P,Ca,Mg,K)」、「肥料・土壌改良資材の種類」の5つの項目で土壌や肥料について説明。長田専門普及指導員は「なぜこの肥料や土壌改良資材が必要なのか、本当に必要なのかを自分で考えられること、そして主体的に農業を行う上でも土や肥料を理解することを大切にしてほしい」と講義をまとめた。

後半の講義では、北海道農業士の寺崎氏が自身の経歴紹介や、営農経験を基に今後営農していく上での注意点や心構えを塾生に説明した。

今回の講義を受講した塾生は「肥料に関する知識が不足していたため、基礎が理解でき勉強になった」「自家以外の一年の営農の流れを知るのとはそれだけで見識が広がるため、ありがたい」と感想を述べた。

【営農企画課 河端】

農業 振興部

女性大学「カレッジあみていえ」5期生 第2講 「日帰り研修～きたそらちツアー～」

7月16日、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」5期生の第2講が開催され、13名の受講生が参加した。第2講は「日帰り研修～きたそらちツアー」と題し、深川市・幌加内町のJA関連施設の見学および北海道幌加内高等学校の生徒指導によるそば打ち体験を実施し、「食と地域と農業の繋がり」について学んだ。

幌加内町のそば工場視察では、収穫したそばの品質を保つための乾燥調製施設と、雪を利用した寒冷地ならではの貯蔵方法を見学。そして幌加内町や当JA等が参加する『幌加内町バイオマス有効活用コンソーシアム』で取り組んでいる「バイオコークス」について、実際にそば殻から作られたバイオコークスに触れながら「幌加内そば」の生産・加工を通じた環境負荷低減、カーボンニュートラルを学んだ。

続いて日本一のそばどころである幌加内町でそばを専門的に学ぶ幌加内高校の生徒に指導をいただき、そば打ち体験を行った。生徒から直接そば打ちを学べる貴重な機会に、受講生たちは喜びながらも真剣にそばを打っていた。

最後に深川市に戻り、精米施設を見学。自分たちが普段口に入れているお米の集荷、検査、精米、出荷の工程や貯蔵の仕組みについて説明を受けた。

研修後に受講生は「そばやお米の施設は普段なかなか見ることが出来ないのので説明が分かりやすく非常に勉強になった」「そば打ち体験をずっとやってみたかったので、幌加内で高校の生徒から学べたことが嬉しかった。自分で打ったそばを食べるのが楽しみ」と話した。

【営農企画課 石野】



▶ つなげる「協働の力」 青年部・女性部との懇談会を開催

7月17日、当JA本所で「青年部・女性部と常勤役員との懇談会」が開かれ、両部員計27名とJAの関係役員が参加した。

この懇談会は、第8次農業振興計画で掲げている「組合員との対話と信頼の再構築」の取り組みの一環で、次世代を担う農業者と、JAの事業や地域農業の課題について率直に語り合う貴重な機会となる。

懇談では、コメの販売価格や集荷の仕組みに関する意見が多数寄せられ、「価格の決め方がわかりにくい」「最初の概算金提示をもっと早くしてほしい」といった声に対し、役員からは「販売先との情報をいち早くつかみ、改善につなげていきたい」との回答があり、「ななつぼし」の複数年契約提示に対しては「継続してほしい」という高い評価もあった。また小麦などの畑作物についても、「施設の処理能力が限界に近づいている」「きたほなみと北見95号、どちらを推奨しているのか」といった具体的な質問が挙がり、JA販売部は「北見95号は当JAが先行的に普及を目指す品種」として説明した。

そのほか、「共同販売の仕組みは手間が省けて助かるが、手数料の高さが気になる」「もっとJAの強みや意義を発信してほしい」といった意見も寄せられた。さらに、「施設園芸ばかりでなく、水稲での新規就農支援も必要ではないか」との声もあり、役員からは「水稲就農は初期投資が重く、行政との連携が不可欠だが、コメどころのJAとして向き合っていく」と語った。

当JAとしては、今後もこうした“対話の場”を大切に、現場の声に耳を傾けていく。

【営農企画課 松本】



農業 振興部

JAきたそらち職員研修を開催 「次世代農業者とJAのつながり強化の条件」

6月19日、当JA職員向けの研修会が開催され、常勤役員を含む72名が出席した。

北海道大学大学院農学研究院の准教授である小林国之氏を講師に迎え、「次世代農業者とJAのつながり強化の条件～“利用されるJA”をめざす対話と信頼の再構築～」をテーマとした講演が行われた。

講演は、第8次農業振興計画の重点施策である「組合員との対話力の強化」を目的とし、次世代農業者との信頼構築、組織のリーダーシップ、職員一人ひとりの姿勢と行動変容について、豊富な研究と実践事例を交えながら行われた。JA職員は、農業者と事業利用にとどまらない日常的なつながりが必要であり、雑談や店舗での声掛け、ささいな交流が信頼構築の一步となる。また、JAはこれらの出来事を共有し他部門に波及させる広がりを持たせる工夫が必要であり、意識改革も必要。JA管理者は若者の意見を受け入れる姿勢、意見の尊重、答えていく体制づくりも求められる。

小林氏は講演の中で「対話はするものではなく、人と人との間に信頼があり、関係を耕した結果生まれ、滲み出るもの。それぞれの立場で関係を耕すために出来ることは何かないか」と思い描きながら、次世代農業者との対話を続けていってほしい」と述べた。

参加した職員は「『関係を耕す』という新しい考え方を知ることができ、貴重な講演となった。信頼関係を築く中で一緒に手を動かして対話の機会を整えることが重要だと感じた」と話す。

【営農企画課 松本】



JA空知青年部連合会北ブロック

第49回球技大会



6月20日、深川市石狩緑地球場でJA空知青年部連合会北ブロックの「第49回 球技大会」が開催された。JAきたそらち青年部・JA北いぶき青年部・NOSAI北海道北空知支所・JA職員ら160名が参加し、11チーム対抗のソフトボール大会が行われた。

開催にあたり同連合会北ブロックの岩倉竜矢代表理事（北竜支部）は「農作業はひと段落したが管理作業等お忙しいなか、本大会にご参加いただき大変ありがたい。また、今日は気温が高くなるため、熱中症に注意し十分な水分補給を心がけて欲しい」と挨拶した。

参加者は和気あいあいと楽しくプレーを行い、熱戦の結果JAきたそらち深川支部Aチームが優勝し、JA北いぶき沼田支部が準優勝という結果になった。球技大会終了後は懇親会を行い、日々の農作業などを話題に交流を深めた。

【営農企画課 河端】

女性部幌加内支部

「検診及び健診健康相談と 熱中症対策についての講習会」

7月10日、女性部幌加内支部（山内和美支部長）が幌加内町消防庁舎で、検診及び健診健康相談と熱中症対策についての講習会を行った。

検診及び健診健康相談では、同町役場保健師の伊藤理加氏を講師に招き、腎臓の働きについて学んだ。普段見えない臓器の役割や動きを知ることにより、健康意識が高まり、自身の体を大切にする重要性を知ることができた。

後半は土別地方消防事務組合消防署幌加内支署の有働裕妃氏より、熱中症対策についての救急通報や救急蘇生について学んだ。有働氏自身が実際に体験したことも交えての講話内容で、参加した部員は熱心に聞いている様子だった。

講習会終了後、山内支部長は「これからより一層気温も上がるため、外で作業される際は自身の体調に十分ご留意いただき、こまめな水分補給を心掛けていただきたい」と述べ、講習会を締めくくった。

【幌加内支所 宮田】





JAきたそらち女性部

支部長研修

JAきたそらち女性部 部長 高田 聡子

6月23、24日、田植えは終わったもののあれこれ農作業に追われまくる時期定期旅行となりました、きたそらち女性部支部長研修旅行に（諸事情許さず同行叶わなかった三谷支部長にはたいへん心苦しくも）赴いて参りました。今回2度目を務める野上支部長（前回は多忙につき参加断念）は「宿泊での旅行などこの時期にはあり得ないのですが今回は支部長の特権としてありがたく参加させていただきます」とのこと、支部長全員激しく同意するところでございます。

さて、初夏、というには気温が上がり過ぎたきたそらちの暑さに早くも辟易気味の支部長のみなさんには「太平洋に面していて比較的涼涼な白老・苫小牧方面、朝夕は肌寒いくらい」と、近隣道南エリア内で生まれ育った高田は申しました。が、それは一昔前の話だったようです。お詫びして訂正いたします。今や北海道に夏も涼涼な地域などないのかもしれない。暑い時はどこへ行っても暑い！

初日に伺ったのは「苫東ファーム」と「桔梗原農園」。「苫東ファーム」は、バスの運転手も迷わされる程広大な苫小牧東部工業団地内に農林水産省が進める次世代施設園芸導入加速化支援事業（字数泥棒がすぎる：）として清水建設（78%）、富士電機、北洋銀行などの出資により平成26年設立された国内最大級のイチゴ生産施設です。GAP（グローバルGAP）認証取得、地の利である陸・海・空路を駆使、年間約200tのイチゴを周年栽培出荷し苫小牧を道内最大のイチゴ産地に押し上げたシゴデキぶりです。農業者には些かハードルの高い、生産・品質管理、販売・流通から労務・人材育成等あらゆるノウハウを蓄積した経営母体の各出資企業が、ICTによる環境制御技術とやらの大規模最先端施設で瀕死の小規模農家に取って代わるものとしていられるリアル。ですが、中の人であるパートのみなさんの実働現場を見学させていただきましたが、早朝からの

収穫、ランナーピンチに始まり規格ごとのパック詰め、検品に至るまで多くの部分がセンサーによって省力化されているとはいえず手作業に頼らざるを得ないのも事実。規格に沿わないイチゴも、ひとつひとつヘタを取り冷凍パックシジャムやペーストなどの業務用として商品化する、大量のランナーやヘタを羊の餌に提供するなどの地道な企業努力には共感するばかりです。担当者によりまして「近年の夏の高温はやはり生産量に影響しています」とのこと。北海道も暑熱対策という課題に直面していると実感。また、「これだけのイチゴを生産している割には地域への浸透が薄い、今後の課題は地元の特産品として消費者により広く受け入れてもらうこと」とも。生産者と消費者を繋ぐ働きかけの重要性を再認識いたしました。

次なる研修先の「桔梗原農園」は収穫体験が可能な椎茸の施設農園、というよりも白老の中山間地域にある家族経営の椎茸やさん、というイメージです。苫東ファームの対局にあると言って過言なし。直前に白老名物「たらこ家」にて、たっぷりたらこ一腹の他、いくらや刺身など満載の丼物を食し心地よい潮風にすっかりリラックスした高田はわりとどうでもいい気分になりかけておりましたが、到着して驚きました、すっかり目が冴えました。桔梗原のお父さん造園の清水流れるダイナミックな庭、広い敷地内のあちらこちらに湧水あり、聞けばそこから見えている山林は椎茸のホダ木を採ってくる所有地とのこと。：こちらにお邪魔してテント泊してもいいものかしら：研修というより癒しのひととき。懐かしい感のある紙袋をひとつ、これにお好きなだけ椎茸を採ってください、ということ支部長のみなさん張り切って参りましょう！「傘が開いていないのを選んでいいよ」と田村支部長にレクを受け「ほら、ここにあるよ」と村上支部長に促され、見惚れてばやばやしていた高田もどうにか袋いっぱいにいたしました。桔梗原さんご一家に見送られ脳内の



深川市稲作経営研究会 支部交流会

7月4日、深川市稲作経営研究会（來島秀樹会長）が支部交流会を実施し、会員46名が参加した。

この交流会は毎年この時期に開催しており、会員同士の交流と試験状況の共有という目的で同市農業センターや同会員圃場を視察する。今年は、農業センターのほか、同会員の毛利紀幸氏（一已地区）と増田ファーム(株)（一已地区）の圃場を視察した。

農業センターの視察は、空知農業改良普及センター北空知支所の山黒彩菜 専門普及指導員と石川美貴 係長による説明のもと行われ、「令和7年度 水稻優良品種決定現地試験」圃場では慣行品種と新品種の比較や現地適応性などについて確認し、また「稲WCS堆肥施用試験」では牛ふんや鶏ふんなどの堆肥を施用した圃場と硫安だけを施用した圃場を比較し、それぞれの生育状況を確認した。

毛利氏と増田ファームの視察は、北興化学工業(株)とクミアイ化学工業(株)の担当者による説明のもとそれぞれ行われ、「スタメンフロアブル（北興化学工業）」、「カクシン楽粒（北興化学工業）」、「シンズイZ豆つぶ（クミアイ化学工業）」の除草剤試験圃場において、いずれもホタルイやノビ工等の雑草に対して十分な薬剤効果を発揮していることを確認した。視察後も、参加した会員が同担当者らへ試験農薬について積極的に質問している姿も見られた。

交流会の最後には同市内の飲食店で懇親会も行われ、会員は普段の営農についての意見交換や今後の作業に向けて英気を養った。

【深川支所 亀島】



深川稲研音江支部・青年部深川支部音江班 合同農業視察研修

6月26日と27日の2日間にわたり、深川市稲作経営研究会音江支部と青年部深川支部音江班が合同で視察研修を行った。それぞれから計12名が参加し、「北海道肥料(株)室蘭工場」や「札幌管区气象台」、「北興化学工業(株)北海道工場」の3か所を視察見学した。

1日目は、室蘭プリンスホテルでランチした後、「北海道肥料(株)室蘭工場」を視察。原料投入から造粒、乾燥、冷却、篩い分け、包装などの化工場の製造工程を見学し、質疑応答を行った。

2日目の午前中は、「札幌管区气象台」を視察。気象・地震・火山活動等の自然現象を24時間監視していることや気象に関する説明を受けた。その後、サッポロビール園に移動し、ジンギスカンなどの豊富なメニューに舌鼓を打った。午後は滝川市へ移動し、「北興化学工業(株)北海道工場」を視察。令和4年10月に除草剤剤工場の建設され、製造ラインと機械、保管庫など施設見学を行った。

参加者は研修後の感想で「普段の作業の中で使用している肥料や薬剤の製造の様子や、最新の設備機械を見ることが出来て勉強になった。次回も参加したい」と述べていた。

【深川支所 千葉】





「なおみちカフェ」

鈴木道知事が幌加内町の バイオコークス施設を視察



7月15日、鈴木直道北海道知事が「なおみちカフェ」として幌加内町を訪問し、バイオコークス製造実証事業施設の視察や、同町ならびにJA関係者らと意見交換を行った。

「なおみちカフェ」は、地域課題の解決や道政施策への反映を目指して、鈴木知事自らが道内の市町村を訪問する取り組み。今回は同町のほか、上川管内5町村に訪問している。

当JAの田丸利博専務が同施設の案内役を務め、そば殻を原料としたバイオコークスの製造工程や利活用することによる環境負荷軽減効果などについて説明。鈴木知事は同施設で作られたバイオコークス燃料を実際に手に取りながら、その有用性などについて熱心に質問していた。

また視察後は、同町の細川雅弘町長や田丸専務、岩本靖幸 幌加内地区代表理事など関係者らと意見交換を実施。同実証事業における取り組みの現況や課題、他資源を原料としたバイオコークス製造の可能性などを情報交換した。鈴木知事は「ゼロカーボン北海道を取り進めているなか、道としても幌加内町の代表的な取り組みを直接現地で確認することができ、実証段階から着実にステップアップし長年の努力が実を結びつつあることを実感した。今回の視察において頂戴したご意見やご要望を知事としてしっかりと受け止めながら、幌加内町のブランド力や地域の持続性を他の市町村でも展開できるようにするなど、今後も連携し取り組みを進めて参りたい」と話した。

【幌加内支所 宮田】



金融 共済部

深川支所 年金友の会

パークゴルフ大会 開催

6月18日、石狩緑地パークゴルフ場で「きたそらち農協深川支所年金友の会（坂口三男会長）」のパークゴルフ大会が開催された。今回は会員22名が参加し、前年と同じく2コース18ホール×2ラウンドの合計スコアで順位を競った。

強い日差しが降り注ぐなか、参加した会員はこまめに水分を取りながらも、初夏の北海道とは思えぬ湿度の上昇にも負けず劣らずの白熱の戦いを繰り広げた。男性の部は酒井孝雄さん、女性の部は合田利子さんが優勝、また、合田利子さんと中邑八重子さんが見事ホールインワンを決めた。

上位入賞者は以下の通り（敬称略）。

【金融共済深川支所 小野寺】

	男性の部	女性の部
優勝	酒井 孝雄	合田 利子
準優勝	佐藤 克之	五十川 美恵子
1 位	木谷 義治	村田 信子
2 位	坂口 三男	伊賀 靖子
3 位	篠原 洋二	藤井 キサ子



令和7年度 JAきたそらち地域農業応援団 結団式

令和2年度より「JAと准組合員及び地域住民との交流の場」として取り組んでいる「JAきたそらち地域農業応援団」へ本年度16名が入団し結団式を開催した。

6月23日、当JA本所で開催した結団式では、開会にあたり岩田清正組合長が「農業・農協を深く理解していただくことが目的で実施しており、現在まで100名近くの方々に農業・農協の理解者となっていただいた。この機会を楽しみながらこの地域のことを学んでいただきたい」と挨拶した。

結団式後、青果部青果課の柏倉隆芳主査が講師となり家庭菜園講習会を実施。初めての試みとして団員の家庭菜園の『土』を土壌分析し、pH・ECの数値を知ることで土地にあった品目、適正な施肥の仕方などを伝えた。団員には家庭菜園に取り組んでいる方が多く、日頃の疑問や上手く育たない悩みなど数多くの質問をしていた。

参加した団員は「庭仕事をしていると疑問に思うことばかり。今回お話を聞いたことをすぐに庭仕事に活かそう」と話してくれた。今後は、JA選果場等の見学のほか、スターチス収穫体験やそば打ち体験などを実施する予定。

【人事課 墓田】



総務部

深川東高校生 JAきたそらちでインターンシップ実施

6月18日から20日の3日間、深川東高校2年生1名が「就職して社会人になったらどのように働くのか」をイメージしながら職業体験を行う「インターンシップ」を当JAで実施した。

今回のインターンシップで生徒は、青果部選果場や当JA農産物直売所「eciR（えしる）」、精米施設、資材店舗において様々な業務を体験。インターンシップは、単なる企業の業務を体験するだけではなく、社会人としてのビジネスマナーを学ぶ機会でもあるため、参加した生徒は緊張した面持ちで各施設のJA職員に業務を教わりながら丁寧に作業を行っていた。

参加した生徒は「農家と連携をしながら経営をしていることが分かった。職員の方々に優しく接していただいたので頑張って仕事をしなければという気持ちになれた」と笑顔で感想を述べた。

【人事課 墓田】

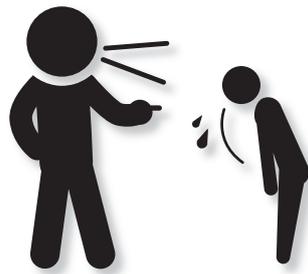


総務部からのお知らせ

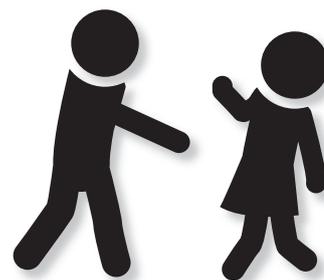
STOP！！ カスタマーハラスメント！！



威圧的な言動



精神的な攻撃（脅迫、中傷、
名誉棄損、侮辱、暴言）



性的な言動・
セクシュアルハラスメント



当組合の提供する商品・サー
ビスに瑕疵・過失のない商品
交換の要求、金銭補償の要求、
謝罪の要求



職員個人への攻撃、要求・
プライバシーの侵害

カスタマーハラスメント（カスハラ）とは・・・

組合員・利用者及び取引先の皆さまからのお申し出・言動のうち、役職員が従事する業務の性質その他の事情に照らして社会通念上許容される範囲を超えたものにより、役職員の就業環境が害されるもの（JA きたそらち定義）

詳細は、以下の URL または QR コードよりご確認ください。

<https://x.gd/OuvDF>

※JA きたそらちホームページにリンクします



JAきたそらち野球部 空知管内JA野球大会 ベスト4

JAきたそらち野球部は、6月24日と25日に岩見沢市営球場で開催された「第66回空知管内JA野球大会」に出場した。

初戦はJAみねのぶと対戦。3回表に辻（深川支所）が先制のタイムリー2塁打を打つと、その勢いそのまま6回表までに9得点した。辻は投手としても5回まで無失点の好投を見せ、9対2で6回コールド勝ちとなった。



好投を見せた辻（深川支所）

二回戦はJA北いぶきとの対戦。初回から一死満塁の場面を作ると、4番の稲田（畜産課）が2点先制となるタイムリーヒットを打ち、また2回には相手のエラーや四球なども絡み、一挙5得点を挙げた。登板した長場（農産課）はピンチもあったが無失点で切り抜け、8対0で5回コールド勝ち。完封勝利を収めた。

準決勝の相手はJAいわみざわ。先発の佐藤（渉外課）が初回から連打を浴び、2点を先制されるも、その裏に3番の堀口（融資課）がレフト方向へのソロホームランを放ち、1点を追う展開となった。しかし3回、5回

に四死球などにより計5点を失い6点差に。6回表からは前日にも登板した辻がマウンドに上がり、ピンチを招くも無失点に抑えた。打線は相手チームの好守に阻まれ、点差を縮めることが出来ずに1対7で敗退。5連覇を目指していたが、ベスト4に留まった。

チームは来年の優勝旗奪還に向けて再び結束を深め、リベンジを誓った。

【営農企画課 石野】



本塁打を放つ堀口（融資課）



青年部深川支部・雨竜支部のインスタはこちら！



JA.YOUTH_FUKAGAWA



URYU_SEINENB



青年部での活動、日々の農作業の様子などを青年部員が投稿しています♪
ぜひ、フォローしてチェックしてみてください！



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和7年6月実績

発電電力 **56,881 kWh**

計画対比 6,659kWh

前年対比 Δ3,058kWh

売電金額 **2,275,240円 (40円/kwh)**

○累計 (R6.12~R7.6)

発電電力 **255,317kWh**

計画対比 22,758kWh

前年対比 Δ57,347kWh

新連載

社労士の一球入魂

～耕す法と農業者への送りバント～

第1回

働き方を整え、助成金を貰おう！

機械と人が集まる組織へ

社会保険労務士法人ホームラン
代表社員 社会保険労務士



阿部 秀樹

2005年12月、札幌市中央区で「社会保険労務士法人 ホームラン」を開業。「みんなに喜ばれるいい会社になろう」を経営理念に現在約300件の顧問先の労務相談・助成金代行・401K・給与計算・社会保険手続き・就業規則作成・研修・いい会社研究会などを担っている。



TikTok 配信中

ホームラン社労士 アベ先生
@homerunabe

JAきたそらちの組合員のみなさん、JAの役員も含めた関係機関のみなさん、初めまして。社労士法人ホームランで代表社員を務めております阿部秀樹と申します。

私は札幌市を拠点に、道内各地の企業・事業者様を対象に、労務管理や助成金申請のご支援をしております。農家の皆さまからのご相談も多く、現場の実情に即した、実務的かつ迅速な対応を心がけてまいりました。なかでも、雇用環境の整備や就業規則の策定、各種助成金の活用支援については、北海道でもトップクラスの実績を有しており、経営者の皆さまに「相談してよかった」と思っていただけの存在であることを目指しております。

このたびご縁がありまして、年に3回（3月、8月、12月）の連載として、皆さまのお役に立てる情報を定期的にお届けする機会をいただきました。現

場の皆さまにとってわかりやすく、すぐに活かせる内容を心がけてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、初回となる今回はこんな話題を。

「厚生労働省の助成金をもらいたいが、けれど、農業では難しいのでは？」

そんな声をよく耳にしますが、実は農業分野でも厚生労働省の助成金を受け取るチャンスは十分にあります。ポイントとは、日々の労務管理をしっかり行うことです。

助成金の前提となるのは「適正な労務管理」。毎月出勤簿を整備し、就業規則どおりに給与を計算し、残業が発生していれば残業代を正しく支払う。この基本ができていれば、多くの助成金の受給要件を満たすことができ、申請から受給までスムーズに進みます。

農業では、家族経営に近い職場が多く、出勤や賃金の管理が口頭や慣習で済まされることも珍しくありません。しかし、こうした点を少し見直して「見える化」することで、従業員の安心感が増し、助成金という「褒美」も受け取れるのです。

たとえば、「業務改善助成金」（助成率75%～80%、最大600万円）や「働き方改革推進支援助成金」（助成率75%～80%、最大720万円）は、作業時間を短縮できる機械や設備を導入する際に活用できます。選果作業や収穫後の処理、梱包作業の効率化など、長時間労働の削減に直結する機器を導入する際には、費用の一部が助成される可能性があります。

さらに、「両立支援等助成金」を活用すれば、従業員が育児や介護と仕事を両立できる体制づくりを進めることができます。たとえば、育児休業の取

得を支援したり、家族の介護のために柔軟な勤務制度を導入したりすることで、対象となる助成金が受給できる仕組みです。農業も高齢化が進む中、介護を抱える従業員が増えており、こうした取り組みは人材確保や定着にも効果があります。

助成金は、「計画↓実行↓申請」という流れを丁寧に踏めば、確実に受給できる制度です。ただし、そのためには日々の労務管理が整っていることが不可欠です。助成金は、そうした経営基盤のしっかりした農業者への国からの応援とも言えるでしょう。

「昔ながらのやり方だから無理」と思わず、まずは就業規則や勤怠管理の見直しから始めてみませんか？ 助成金の活用につながり、そして人が集まり、安心して働ける農業への第一歩になります。

農業振興部からのお知らせ

農作業中の熱中症にご注意ください！

大切な体を守るために、いま一度、対策を徹底しましょう！

熱中症のリスクが高まるタイミング

- ・ 気温が高く、湿度も高い日（特に最高気温30℃以上）
- ・ 曇りの日でも、湿度が高いと危険！
- ・ 朝夕の涼しい時間でも、連日の疲労が蓄積していると注意

作業中の基本対策チェック

- ・ こまめに水分・塩分を補給（30分に1回が目安）
- ・ 涼しい服装・帽子を着用し、首元は冷やす
- ・ 作業は涼しい時間帯に（早朝や夕方）
- ・ 1人作業を避け、定期的に声をかけ合う
- ・ 休憩は日陰・風通しのよい場所で十分にとる



万が一、こんな症状が出たらすぐに作業中止！

- ・ めまい・立ちくらみ・吐き気・頭痛・異常な汗または汗が出ない
 - ・ 意識がもうろうとする、ろれつが回らない、手足のけいれん
- ➔ すぐに涼しい場所へ！水分・塩分を補給し、可能であれば医療機関へ！

【お願い】

ご家族や従業員・パートの皆さまにも、ぜひ熱中症対策を徹底いただくようお願いください。

新入職員のお知らせ（キャリア採用）

\\ よろしくお祈いします! //

金融共済深川支所

えんどう ちか
遠藤 千佳

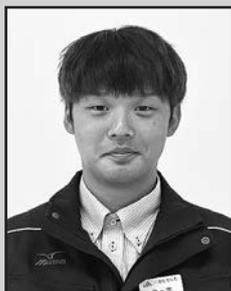
令和7年7月1日付



販売部米穀課

ささき かいと
佐々木 快斗

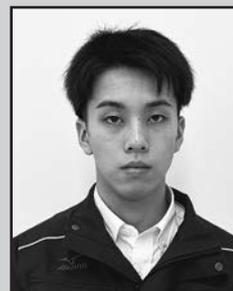
令和7年7月1日付



農業振興部営農企画課

つぼ はやとし
坪 隼人士

令和7年7月7日付



退職者

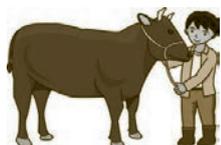
大変お疲れ様でした（令和7年6月30日付）

◆青果部施設課

庄司 遥楠

令和7年度 ホクレン南北海道市場和牛・交雑素牛販売情報

開催日
6/11～6/12
市場成績



品種	性別	区分	市場全体		きたそらち農協	
			本年6月実績	前年同月実績	本年6月実績	前年同月実績
和牛	去勢	出場頭数	942	1,088	27	72
		平均価格	747,471	604,827	675,274	522,221
	めす	出場頭数	711	788	26	86
		平均価格	595,540	473,978	548,975	445,591
交雑	去勢	出場頭数	107	92	0	30
		平均価格	352,338	299,079	0	292,527
	めす	出場頭数	305	339	121	76
		平均価格	336,439	259,149	340,636	250,482

【平均価格は円・税込価格】

金融共済部からのお知らせ



北海道
限定!

JAのこども共済 ご成約キャンペーン実施中!

キャンペーン実施期間：2026年3月31日まで

※ご加入いただけるお子さま（お孫さま）の年齢は0～12歳です。 ※ご加入いただけるお子さまの年齢はプランにより異なります。

令和7年4月より
給付率UP!

魅力的な給付率
給付総額 ÷ 払込共済掛金総額

約116.1%

●共済掛金（年払い・口座振替扱い）132,460円
●払込共済掛金総額1,721,980円 ●給付総額2,000,000円
（令和7年4月現在）

<ご契約例>

こども共済学資金型（大学生プラン）基本型 / 出生前加入 / 22歳満期 / 12歳払込終了 / 18歳学資金支払開始 / ご契約者 男性 30歳 / 主契約共済金額 200万円 特約：指定代理請求特約

※学資金、満期共済金のお受け取りの時期はお子さまの誕生日ではありません。 ※給付率は、ご契約者、お子さまの契約日の年齢、学資金支払開始年齢など契約内容によって異なります。 ※お子さまの出生予定日の140日前からご契約できます。 ※給付率は、上記契約例で口座振替扱いの場合です。

こども共済をご成約された方に先着で

JA共済オリジナル
アンパンマンバスタオル
プレゼント

※ノベルティはデザインが変更になる可能性があります。



賞品が無くなり次第終了です！お早めに！

JA共済は農家以外の方もご利用いただけます

JAのこども共済
ここがいいね！

- ①契約者に万が一のことがあった場合、それ以降の掛金払込不要です。^{※1}
- ②75歳までご加入できるためお孫さんのプレゼントにも活用できます。^{※2}

ママリユーザーの声

近くにJAがあって便利でした。

両親がJAのこども共済に加入してくれました。

JAの方の説明もわかりやすく、おすすめです。

将来の教育費を堅実に準備するために加入しました。

9期連続受賞!!

JAのこども共済「学資応援隊」

ママリ口コミ大賞

2025 学資保険部門 受賞

貯蓄性と保障のバランスがよいので加入しました！

子ども3人とも、将来のためにJAのこども共済「学資応援隊」に加入しています。

支払い方法やこどもの進学時期に合わせてプランが選べるので加入しました。

※1 共済掛金払込免除不担保特則を付加する場合を除きます。 ※2 ご契約者の年齢や健康状態にかかわらずご契約いただけるプランもございます。（共済掛金払込免除不担保特則を付加する場合に限ります。）この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。ご提供いただいた個人情報は、JAおよびJA共済連の事業ならびに各種サービスのご提供・ご案内・充実等の目的以外には利用いたしません。また、JA共済は「個人情報保護方針」を定め、個人情報の保護に努めております。

お問い合わせ先

JA共済
JAきたそらち

本所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨電支所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北電支所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

25010011003



顔面、特に頬部がズキズキ、目の奥がチクチクといった痛みを感じたら、放っておかずに医療機関を受診しましょう。顔面痛は、いろいろな病気で起こり得る症状です。

① 副鼻腔炎（ふくびくうえん）

顔の痛みの代表で、頬、目の周辺、額などに重たるさや痛みがあり、濁った鼻水が出ます。急性であれば痛みが強く、慢性になると鈍く重い不快感が中心となります。三叉神経の枝（第1、2枝）に沿って痛むことが多く、鼻内の視診やレントゲンによる画像検査が診断に有効です

② 三叉神経痛（さんさしんけいとう）

顔の片側に、典型的であればピリピリ、あるいは電気が走ったような激痛が走り、洗顔や歯磨きなどで誘発されることがあります。数秒〜数分で治まるのが特徴。トリガーゾーンと呼ばれる痛みの起点があり、典型例では一時的な血管の神経圧迫が原因となります。内服薬や、専門医による神経ブロック注射が有効です

③ 顎関節症（あごかんせつしょう）

顎（あご）を動かすときに、引っかかるような痛みがある場合、顎関節のトラブルである可能性があります。筋肉や関節の緊張による痛みは、咀嚼（そしゃく）運動やストレス、歯ぎしりなどが誘因となっている場合があります。マウスピースやリハビリで改善が期待できます。

④ 帯状疱疹（たいじょうほうしん）

顔面部に、神経痛を思わせるピリピリした痛みとともに、帯状に広

がる水疱が見られたら、帯状疱疹の疑いがあります。三叉神経が侵されると三叉神経痛と同様の疼痛が生じます。聴神経や顔面神経に障害が及ぶとめまいや顔面神経麻痺を伴うこともあり、ハント症候群と呼ばれる場合があります。まれながら声のかすれや嚥下障害が起きることあるため、速やかな診断、治療（抗ウイルス薬、神経ブロック）が重要です

⑤ その他の原因

- ・ 頭頸部がん・上顎がんや上咽頭がんなどでは持続性の顔面痛や鼻血が起きることがあります。頸部リンパ節に転移すると頸部にしこりがみられます。
- ・ 非定型顔面痛・ストレスや自律神経の乱れなどが原因と考えられ、特に中年女性に多く見られます。

診断は問診、視診、検査にて行われます。いつから、どこに、どんな痛みがあるのか、誘因はあるのか、随伴症状（鼻水、水ぶくれ、しびれ、顔の動きなど）があるのかを詳しく聞きます。耳、鼻、のどの視診後に、必要な検査を行います。鼻症状や副鼻腔病変が強い場合にはレントゲン検査、水疱や麻痺がある場合は聴力検査やウイルス検査などです。

診断がいたら適切な治療に進みます。感染症による炎症であれば抗菌薬、抗ウイルス薬の適応となります。

顔面の痛みは、診察と検査によって、多くのケースで診断が可能で、放っておかずに専門医を受診することが大切です。特に、鼻症状・水疱・顔面麻痺・発作性の激痛などがある場合は、早期の医療機関での受診をお勧めします。

JA北海道中央会からのお知らせ

JA GROUP HOKKAIDO

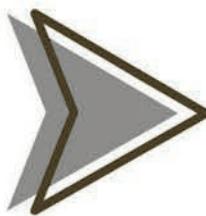
営農農政

NEWS WEBSITE

JAグループ北海道の農政活動や
営農・農政関連情報を配信中！



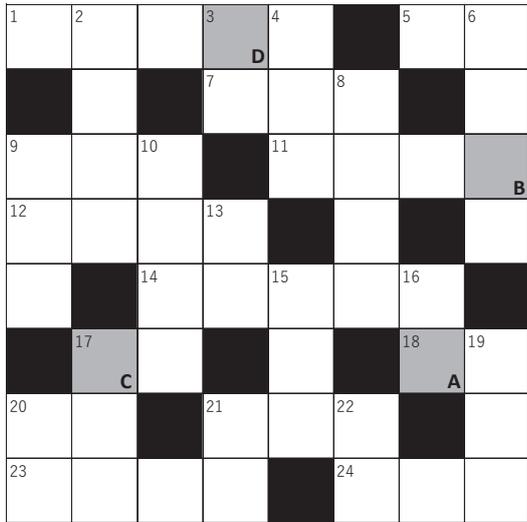
「公式LINE」
友だち登録は
こちらから！



【お問い合わせ先】 JA北海道中央会アグリアクション推進部
E-mail:kouhou@chuo.ja-hokkaido.gr.jp

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D
---	---	---	---

【タテのカギ】

- 小さな竹筒や紙筒に火薬を詰めて多数つないだもの。
- 野球で走者が得点するために通過しなくてはならない地点。ベース。
- まじめな顔つき。
- スキーの練習場。滑走場
- 飛行機が出発したり、着いたりする所。
- 魚類や虫類などの身体の表面を覆う小さな薄いもの。
- 自分の思うままにすること。身勝手。
- 植物の茎が伸びて、地面を這ったり他の物に巻き付いたりしているもの。
- 実物をかたどって小さく作ったもの。
- 今日の朝。
- 行き詰った状態を切り開いて解決に導くこと。〇〇策。
- 国が他国との通商・交通などを禁止、または強く制限すること。
- お金が要らないこと。無料。
- 百の十倍。
- 地球の表面で、水におおわれていない部分。

【ヨコのカギ】

- 幼児を乗せる、四輪の手押し車。
- バラやサボテンなどの植物の茎や葉に生えている、小さくてかたくなかった部分。
- 人間の体のはたらきや病気について研究する学問。
- 柄のついた、あおいで風を起こす道具。
- 王様のかぶるかんむり。
- 一年で六番目の月。
- 全部もうけになること。
- 粉を水で溶いたとき、完全に溶けないためにできる小さなかたまり。
- 丈の低い竹の総称。パンダの好物と言われている。
- ワシより少し小さく、するどいつめと曲がったくちばしを持った鳥。
- 乱れているものをかたづけて、きちんとしてすること。「〇〇整頓」
- 物事を恐れず、思い切ってするさま。
- 追い払うこと。類義語「駆除」

6月号の正解は

「レインボー」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 日当 文子 様
 深川市 曾我部ふみ子 様
 幌加内町 黒田 冬子 様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切8月31日消印有効で当選者とクイズの答えは令和7年10月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課 FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL:https://www.ja-kitasorachi.com/living/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



七月俳句

● 雨竜俳句会

春の風自転車横目に散歩かな
 万緑や溢れる生気山孕む
 葱坊主飛べない空を仰ぎ見る
 鼓草刈られるとても咲き誇り
 植えない庭に花咲く風薫る
 ハチマキに汗を吸わせて走りけり
 畑仕事腰を伸ばせば夏の鹿

北川 満江
 小山 邦男
 佐々木 待子
 竹原 美裕
 松木 五月
 宮武 めぐみ
 吉見 サヨ子

● 「道」俳句会 北電支部

鳥達の影も姿もなき猛暑
 さくらんぼ兄弟姉妹みな健在
 停戦を告ぐか老鷹高きより
 実桜や七年過ぎて吾が背丈
 見納めや友好パンダ夏の雨
 潰えたる夢病葉を陽にかざす

山本 玲子
 山岸 正俊
 阿部 れい子
 山下 好晴
 佐藤 美智子
 阿部 れい子

● 土筆俳句会

早かりき子の定年も更衣
 病得て祭太鼓の耳障り
 取り敢えずビールと言ひて会始む
 幼穂も形は米にて力溜め
 夕立に追われトンネル雨宿り
 ひまわりを英字紙に巻きくれる人
 振り向くと湯の香りする夏暖簾
 夕空に羽音聞かせよオオジシギ
 炎天下札幌駅の大工事

高尾 美津子
 池田 美知
 南川 富美子
 佐藤 英三子
 滝口 富美子
 菅原 優子
 森田 裕美子
 沼田 留美子
 小橋 厚子

第7回理事会〈令和7年6月27日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 財務報告及び事業実績について
5. 固定資産の取得・リース資産の取得について
6. 令和7年度上半期決算実地棚卸 理事並びに監事の立会について
7. JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリングの報告」について
8. 職員の人事及び業務事故について
9. 第8次農協経営計画に基づく役員出資増口について
10. 貸出金の貸付報告について
11. 令和7年産米の「生産の目安」の取組状況について
12. 米の概算金に係る報道について

13. 令和7年度 主要農作物の生育状況（6月15日）について
14. 令和7年産 米出荷契約、集荷販売計画について
15. 令和5年産 うるち米主食最終精算について
16. 令和7年産 小麦の集荷について
17. 令和7年産 畑作物作付状況について
18. 令和7年産 玄そば出荷契約数量について
19. 令和6年産 屑大豆精算について
20. 令和7年度 畜産物の販売実績（5月末）について
21. 令和7年度 青果・花き集荷販売実績について
22. 胡瓜収穫ロボット導入試験の実施について
23. R7温材奨励金の支払いについて
24. R7JA 肥料価格の設定について
25. R8肥料温材推進について
26. 経済部事業実績について

議案第1号 令和7年度第1四半期随時監査の結果について

議案第2号 組合員の出資金持分譲渡について

議案第3号 固定資産の取得・修繕について

議案第4号 カスタマーハラスメント対応要領の策定について

議案第5号 給与規程の一部改正について

議案第6号 退職給与規程の一部改正について

議案第7号 定年退職者再雇用規程の一部改正について

議案第8号 貸出金の貸付について

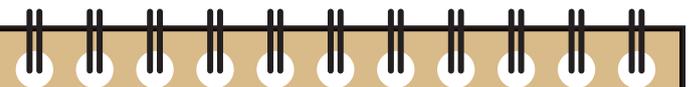
議案第9号 貸出金の条件変更について

議案第10号 理事者に対する貸出承認について

組合員の動き

(令和7年6月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,156	13	21	1,148
	団体	110	2	0	112
准組合員	個人	5,326	31	36	5,321
	団体	261	0	3	258
正組合員戸数		818	1	7	812



おこめの赤ちゃんが出てきたよ！

(左：北光保育園、右：音江中央保育園)

毎日お天気が良いから、ぐんぐん大きくなってうれしいな♪小さなおこめをすずめさんにとられないように気を付けなきゃ…

7がつ9にち(すい)バケツ稲レポート

総務部からのお知らせ



四季の風景や、日常のひとコマなど、**地域の魅力**をぜひご応募ください!



JAきたそらち オリジナルカレンダー2026



フォトコンテスト

応募締切 2025年9月20日(土)



こちらからご応募いただけます♪



きたそらち Instagram



JAきたそらち Facebook

【応募方法】

JA きたそらち公式メールアドレス (info@ja-kitasorachi.com) または、JA きたそらちの公式 SNS アカウント (Instagram・Facebook) よりご応募ください。
※写真をカレンダーへ掲載する際の「ペンネーム (記載がない場合は応募者名を掲載)」や「写真の撮影場所」、「撮影者コメント」をご記載ください
※メールにて応募される場合は住所、郵便番号、氏名、電話番号を記載のうえ、ご送信ください

【採用通知】

写真が採用された方には、電話もしくはメール、SNS で応募された方については、ダイレクトメッセージで通知いたします。また完成したカレンダーと謝礼をお送りします。
※採用された写真についてはカレンダーの他、JA きたそらちの広報活動 (広報誌、SNS ほか) にも活用させていただきます。あらかじめご了承ください

